

最先端技術を駆使して製造された自動車用エンジン部品

特集

# 企業×行政＝本気 ものづくりのまち西尾の底力

県内屈指のものづくりのまち、西尾——ものづくりの精神は人から人へと受け継がれ、現在、3万人以上が市内のものづくり関連企業で働いています。人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を上げようと国が掲げる「地方創生」において、自治体間の競争を勝ち抜くには、さまざまなアイデアで「まち」に「しごと」を増やし、「ひと」を呼び込むことが重要です。

【関連企業誘致課企業誘致担当】☎65・2158

## 「ものづくりのまち西尾」が 目指すべき姿

現在の日本は少子化などによる人口減少という問題を抱えています。人口減少は、企業の生産力低下や税収の減少につながり、自治体に深刻な影響を及ぼすことが予想されます。そこで市では、将来的な人口減少を少しでも食い止めるため、企業の「誘致」と「留置（流出防止）」という戦略的な取り組みを車の両輪のように実施し、「ものづくりのまち西尾」の体現を目指しています。厚みのある地域経済の創造と、雇用を支える企業の経営力の強化を、企業と行政が一体となって本気で推し進めていきます。それは、市内の企業が持つ「高度なものづくりの知識・技術」

と「未来を担う多様な人材」を、「伴走型の行政サポート」で後押ししていくイメージです。

若い世代にとって魅力のある雇用の場を創出することで「西尾で生まれ、西尾で働く」人が増え、そして「西尾に住み続けて良かった」と、多くの人に実感してもらえる——それが「ものづくりのまち西尾」のゴールです。



高機能部品の品質検査

# データが語る西尾の実力

## 製造品出荷額等

順位	都道府県名	出荷額等	シェア
1	愛知県	43兆8,313億円	14.4%
2	神奈川県	17兆7,210億円	5.8%
3	大阪府	16兆5,291億円	5.4%
4	静岡県	16兆 507億円	5.3%
5	兵庫県	14兆8,883億円	4.9%

上位5都道府県

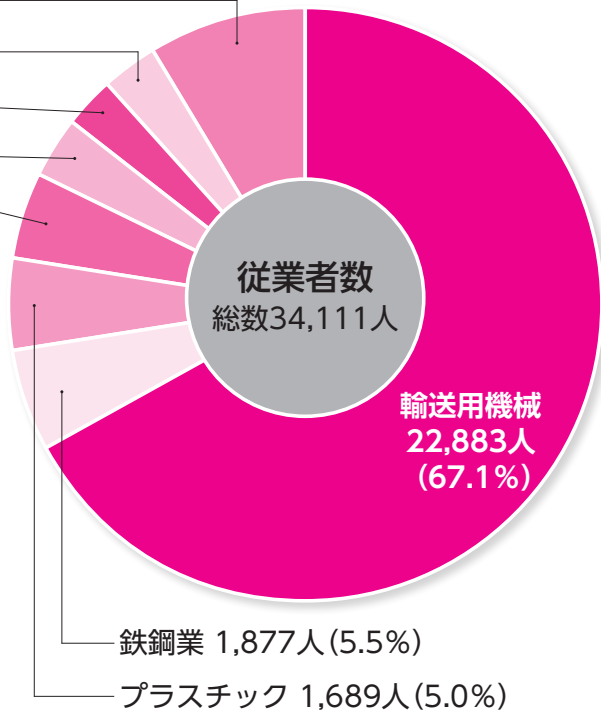
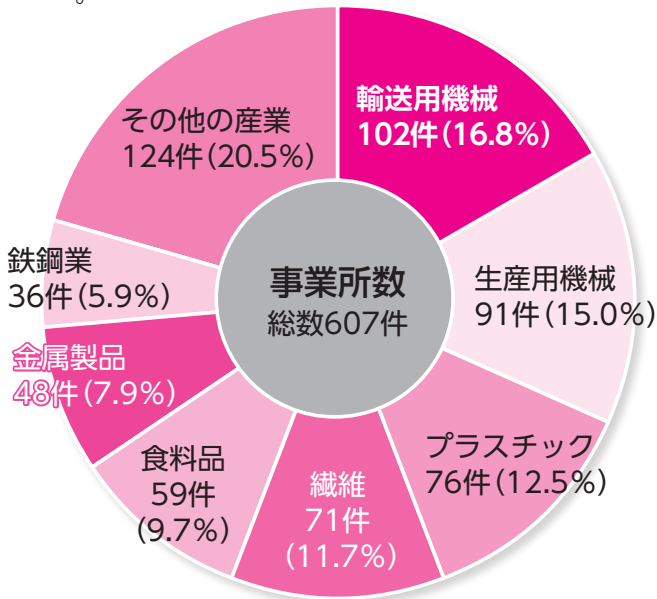
## 製造品出荷額等のうち輸送用機械

順位	市町村名	出荷額等	シェア
1	豊田市	12兆1,775億円	52.1%
2	田原市	1兆9,682億円	8.4%
3	安城市	1兆 715億円	4.6%
4	西尾市	1兆 74億円	4.3%
5	岡崎市	1兆 47億円	4.3%

愛知県内上位5市町村

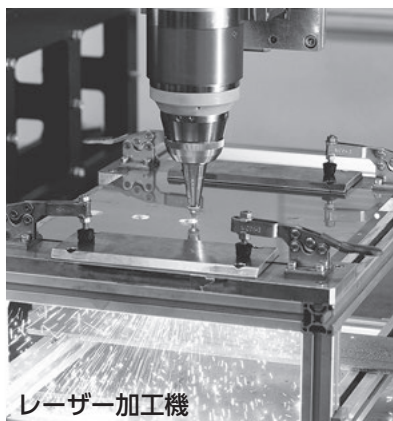
※輸送用機械とは、自動車や船舶、航空機、鉄道車両などのことです。

その他産業 2,929人(8.6%)  
金属製品 962人(2.8%)  
繊維 1,006人(2.9%)  
食料品 1,122人(3.3%)  
生産用機械 1,643人(4.8%)



市内には、鋳造や鍛造、切削、研磨など、金属加工の技術を有する長寿企業が数多く集積しているため、熟練の技術を継承する優秀な人材が豊富であることも、ものづくりが発展した要因の一つであると考えられています。

出典：経済産業省「26年工業統計調査」  
(調査対象は従業員4人以上の事業所)



これらのデータから、市内の企業が愛知の自動車産業を支える重要な役割を果たしていることが分かります。自動車産業以外にも、生産用機械やプラスチック、繊維など、幅広い産業が集積しているため、ものづくりの可能性は今後もますます広がっていきます。

愛知県は、全国屈指のものづくりの拠点です。経済産業省の26年工業統計調査によると、県の製造品出荷額等は43兆8313億円、全国1位。昭和52年以降39年連続で日本一です。うち輸送用機械は国内シェアの39.1%を誇り、日本経済の発展の原動力となっています。

西尾市の製造品出荷額等は1兆3481億円で、県内の54市町村中、第10位。うち輸送用機械は1兆74億円、第4位。従業者総数は3万4111人で第7位、事業所総数は607件で第8位です。

輸送用機械、県内4位の実力

# 戦略的に取り組む

## 大規模展示会に共同出展

今までに、東京で開催されているアジア最大級の自動車の次世代技術専門展「オートモティブワールド」や、大阪で開催されている機械部品・加工技術の専門展「関西機械要素



オートモティブワールド2017

技術展」に市内企業と共同出展してきました。これらの展示会は「ものづくりのまち西尾」の知名度を向上させ、企業の競争力と経営力を強化するとともに、新たな事業展開と販路拡大の場となっています。28年度までに共同出展した市内企業は21社。27年度には、県内初の試みとして市

と西尾商工会議所が連携してオートモティブワールドに大型ブースを構築し、市内12社と出展しました。30年1月に、東京で開催される展示会にも市内5社と出展を予定しています。



産業立地セミナー

## 産業立地セミナー

28年11月18日に、市内外の企業関係者を一堂に集め、西尾市の魅力などの情報を発信する「産業立地セミナーin西尾」を三河湾リゾートリンクスで開催しました。株式会社デンソー取締役副社長の宮木正彦氏に、「西尾産」世界へ！デンソーの世界初製品開発」をテーマに講演していただき、定員を大幅に超える約160人が参加しました。その後に行われた、情報交換会を兼ねた交流会も大盛況でした。

## 頑張るものづくり企業

地域経済を支える市内企業の取引・提携先の開拓と販路拡大に役立てようと、冊子「頑張るものづくり企業in西尾」を作成しました。技術や製品、業務プロセスなど、企業のセールスポイント・強みを1冊にまとめたもので、現在第2号の発刊に向けて準備しています。



広報にしておでは、今号から毎月1日号で「ほんものづくり隊」コーナーの連載を開始します(23ページ参照)。「ほんものづくり隊」とは、冊子「頑張るものづくり企業in西尾」に掲載した企業のことです。大手自動車部品メーカーをはじめとした、さまざまな分野で「見えない部品」を真面目に正確に作り続ける、本物志向の市内ものづくり企業の集団を表します。

## 「ほんものづくり隊」のロケターフ

ものづくりのまちのシンボルマークとして、「ほんものづくり隊」のロゴマークを作成しました。パンフレットに掲載するなど、市と企業が一体となってイメージ戦略に取り組み、「ものづくりのまち西尾」の知名度を高めることで、販路拡大や優秀な人材の確保につながると考えています。



## 西尾の魅力を動画で配信

市内企業17社の協力の下、「ものづくりのまち西尾」の魅力をPRする動画を作成しました。市ホームページや下のQRコードから、ぜひご覧ください。



# だから、西尾が選ばれた

## 県内トップクラスの実績

### 自動車部品のプレス加工 株式会社浅賀井製作所

代表取締役 加賀雅人さん



主要な取引先から近いという申し分ない立地条件と、西尾市企業誘致課からの熱心な誘致活動が決め手となりました。他市にある本社工場は周辺に民家が隣接し、機械が発する騒音・振動という環境リスクがありました。西尾工場では、隣接する民家もなく、周辺環境に配慮した工業団地であることも、西尾を選んだ理由です。

## 進出企業の社長に聞く

### 専用機部品・治具などの精密加工 大野精工株式会社

代表取締役 大野孝久さん



主要なお客様に近いことと、道路交通網の良さがポイントでした。特に自動車部品メーカーの各工場へのアクセスの良さが決め手でした。実際、受注から1時間以内に納品し、驚きとともに喜ばれたこともあります。雇用面でも、地元で良い人材を確保でき、安心してものづくりに取り組む環境があると思います。

順位	市町村名	件数
1	西尾市	27
2	名古屋市	19
3	安城市	17
4	岡崎市	13
5	豊川市	11
	刈谷市	

企業誘致課は、年間延べ300社近くの市内外の企業と接触し、設備投資の状況などの情報を収集しています。また、企業立地支援制度の情報の提供や、開発諸規制の手続きの助言などを「ワンストップサービス」で行い、企業の西尾への進出を後押ししています。

市内に工場などを新・増設した企業を支援する「企業立地支援制度」には、県と連携した「企業再投資促進補助金」と、市独自の「工場等建設奨励金」があります。28年度に交付した補助金などの件数は22件、金額は5億691万5千円でした。特に「企業再投資促進補助金」は、制度が開設された24年度以降の県内採択件数224件（7月末現在）のうち27件が西尾市で、左表のとおり他市町村を大きく引き離して第1位です。

また、経済産業省の28年工場立地動向調査によると、製造業等の工場立地件数は、都道府県別で第2位の愛知県の市町村中、西尾市は第2位です。

## 「ほんもの」の作り手を応援します



品質と生産性を高めるため、絶えず課題に取り組み、改善を繰り返す、ものづくりの現場。市内には「ほんもの」を作り続ける企業が多くあります。市は、さまざまな分野の頑張る企業を応援して、地域産業の活性化や雇用の創出につなげ、住みやすい西尾の実現を本気で目指しています。

今後も、西尾のものづくり企業の競争力や経営力を強化するため、戦略的に取り組みを進め、「ものづくりのまち西尾」の可能性を広げていきます。